

第1学年 国語科学習指導案

平成28年1月1日火曜日

1年2組26名

指導者 秋吉 千恵美

1 単元名 ギョギョ！ 幻の魚たちから学ぶこと ～ものの見方や考え方を広げよう～

2 生徒について

・生徒はこれまでに説明的文章として「ダイコンは大きな根？」で段落の役割に着目して読むことや、「ちよっと立ち止まって」で文章の構成に着目して読むことを行ってきた。その際、「中心的な文」に注目すると捉えやすくなることを学習してきた。しかし、その捉え方は不十分で、書かれている事柄をおおまかには読み取れるが、要約や要旨をまとめるとなると戸惑うところがある。

・本学年の生徒は朝自習時間に読書を行っており、図書館の利用率もさほど低くない。だが、ジャンルに偏りがあり、説明的文章を読むことは少ない。本単元は「幻の魚 クニマス」について書かれた内容だが、生徒にとってはあまり身近に感じにくいのではないかと予想される。しかし、これから私たちが生きるうえで「自然と人間の関わり」について考えていくことは必要不可欠なことである。本単元では一般論として捉えるのではなく、自分たちが住む地域や生活と関連させながら読ませていきたい。

3 単元の指導目標（付けたい力）について

（指導目標）

3つの異なる資料から得た知識をそれぞれが持ち寄り統合することによって、授業の柱となる課題（ジグソー活動の課題）の答えを出し、その答えを活用して「自然と人間の関わり」について自分の意見を書くことができる。

（指導事項）

①文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 【読む イ】

②文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。 【読む オ】

4 言語活動について

・言語活動として「自然と人間の関わりについて書かれた文章を読み比べ、それぞれの筆者のものの見方や考え方を読み取り、自分の考え方を広げさせる」活動を位置付けた。

5 教材について

「幻の魚は生きていた」 （「国語1」光村図書）

「ホテルの里づくり」 （平成14年度用 「伝え合う言葉1」教育出版）

「魚を育てる森」 （平成9年度用 「国語1」光村図書）

・論点を明確にすることを通して、読んだり書いたり話し合ったりしながら、考えを深めていける教材である。

6 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

文章の内容に興味をもち、そこから自然と人間の関係について広く考えようとしている。

【話すこと・聞くこと】

必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。 (エ)

【読む能力】

①筆者の主張を捉え、キーワードを入れながら100字～200字で文章の要旨をまとめている。(イ)

②筆者の主張に対し、具体的な根拠を挙げて自分の考え（「共感・納得」「疑問・反論」）を書いている。(オ)

【言語についての知識・理解・技能】

文中の接続する語句に着目して、論の展開や全体の構成を捉えている。 (伝国イ(エ))

7 指導と評価の計画（全6時間）

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価
1	・本単元のねらいを確認し、学習の見通しを持つ。	・「湯布院の近隣湖、外来駆除」や「大阪寝屋川アリゲーターガー」等の映像を見せ、日本各地の実態を知らせる。 ・『おしえて！さかなクン3』を紹介しながら、さかなクンが絶滅魚「クニマス」を発見したニュースを知らせる。 ・環境について描かれた漫画を紹介し、『人間が環境に対して考えていかなければいけないことはどんなことか。』という課題を意識させる。 ・生き物と人間の生活について考えていくことを確認させる。	・関心・意欲・態度 (観察・ワークシートへの記述)
2 ～ 3	・エキスパート活動	・エキスパート班【A・B・C】で各教材（A「幻の魚は生きていた」、B「ホテルの里づくり」、C「魚を育てる森」）を読み深め、課題に対しての意見をまとめさせる。	・読む能力① (ワークシートへの記述)
4 本 時	・ジグソー活動 ・クロストーク活動	・ジグソー班【A・B・Cが分かれて一人ずつ班に入る】で、課題に対して意見をまとめさせる。 ・班でまとめた意見を学級全体で発表させる。	・読む能力② (ワークシートへの記述)
5 ～ 6	・それぞれの作品から生き物と人間の生活について自分の考えを文章にまとめる。	・自分の立場（共感・納得・疑問・反論）と根拠を挙げさせ、400字程度の文章を書かせる。 ・書いた文章を読み合い、考えを広げさせる。	・読む能力② (ワークシートへの記述)

8 協調学習の指導について

(1) 「協調学習」とは

「協調学習」とは、大学発教育支援コンソーシアム推進機構が提唱する学習方法である。

この学習方法は、一人ひとりの「わかり方の違い」を活かす学習方法である。このわかり方の多様性を活かすことで、深い納得を求めて自分のわかり方を見直す活動が起き、充実した学習が可能になる、というのが「協調学習」の考え方である。

しかし、私たちはふつう、「わかり方の多様性」をあまり意識しない。「わかり方の多様性」に気づけるようにし、それを活かす「協調学習」を引き起こすには、方法が必要になる。その方法の1つが「ジグソー法」である。

(2) 「ジグソー法」の展開

①エキスパート活動

グループにわかれて資料を読んだり活動したりして、1つの課題についていくつかの異なる視点から学習する。

【エキスパート活動の課題】

A「幻の魚は生きていた」・・・田沢湖周辺の人々が「得たもの」と「失ったもの」は何だろうか？

また、このことからどんなことが分かったか？

B「ホテルの里づくり」・・・名古屋や横須賀にホテルがもどってきたのはなぜか？

また、このことからどんなことが分かったか？

C「魚を育てる森」・・・失われた襟裳岬の漁場がもどったのはなぜか？

また、このことからどんなことが分かったか？

***それぞれ分担した課題に沿って事実と意見を読み分け、要約していく。**

②ジグソー活動

エキスパート活動で学習したことを持ち寄って新しいグループをつくり、それぞれの知識を組みあわせて新しい課題を解く。

***担当ごとに読み取ったものを違うグループの人にキーワードを押さえながら説明する。**

***大事などころを確認（質問または要約）しながら聞く。**

③クロストーク活動

互いの答えと根拠を検討し、その違いを通して、一人ひとりが自分なりのまとめ方を吟味するチャンスが得られ、一人ひとりが納得する過程が生まれる。

* 3つの資料の共通点や独自の主張を確認し合い、筆者たちの主張を要約する。

9 本時の指導案

(1) 本時の目標

「自然と人間について」自分の考えを深めるために、ジグソー活動の中で自分と違う意見をメモしたり、確認作業をしたりしながらまとめることができる。

(2) 本時の評価基準 (B)

・説明を聞きながらキーワードをもとにメモを取る。分からない言葉を質問する。

(3) 本時の展開

時	学 習 活 動	主な発問 (□) と指示 (■) 及び指導上の留意点 (・)	評 価
5	1 前時の内容を振り返り、本時の課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>人間が環境に対して考えなければならないことはどんなことだろう。</p> </div> <p>■エキスパート活動でまとめたことを確認させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【エキスパート活動の課題】</p> <p>A 「幻の魚は生きていた」 * 田沢湖周辺の人々が「得たもの」と「失ったもの」は何だろう？また、このことからどんなことが分かったか？</p> <p>B 「ホテルの里づくり」 * 名古屋や横須賀にホテルがもどってきたのはなぜか？また、このことからどんなことが分かったか？</p> <p>C 「魚を育てる森」 * 失われた襟裳岬の漁場がもどったのはなぜか？また、このことからどんなことが分かったか？</p> </div>	<p>・エキスパート活動でまとめた意見をワークシートを見ながら確認している。 (観察)</p>
2 3	2 〈ジグソー活動〉 エキスパート班で話し合った意見を出し合い、それをもとに課題について考える。	<p>・教師が説明の仕方や聞き取り方、メモの取り方のモデルを示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈「話し方」ポイント〉</p> <p>① 「課題」に対する「答え」から説明し、次に補足説明をする。</p> <p>② 相手の反応を見ながらキーワードを押さえる。 (強調・・・声の大きさ・ゼスチャー・繰り返しなど)</p> <p>〈「聞き方」ポイント〉</p> <p>① 必要に応じて質問・確認をする。 (相づち・アイコンタクトなど)</p> <p>〈「メモの取り方」ポイント〉</p> <p>① キーワードとなる言葉を中心にメモを取る。</p> <p>② 囲み・矢印・順番を使ってメモを取る。</p> </div>	<p>・エキスパート班で要約したものを見ながらキーワードを押さえて説明している。 (観察)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・必要に応じて質問したり内容を確認したりしながら説明を聞き、ポイントをメモしている。 (ワークシート)</p> </div>

17	3 <クロストーク活動> 各班で話し合ったことを発表し合い、全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 話し手には、要約したのを見ながらキーワードをはっきり押さえて説明させる。(話し手のワークシートは見せない。) 聞き手には、必要に応じて質問したり説明の内容を要約したりしながら聞き取らせ、ポイントをメモさせる。 <p style="text-align: center;">【自己決定の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つの資料を通して、その資料「独自の主張」と「共通点」について考えさせる。 <p style="text-align: center;">【共感的人間関係を育む場】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 互いの意見を聞き合い、課題について班の意見をまとめようとしている。(観察) 他の班の発表やホワイトボードを見ながら「独自の主張」や「共通点」について確認している。(観察)
5	4 学習を振り返る。	<p>■ジグソー活動で出てきた多様な意見を教室全体で交流させ、3つの資料の「独自の主張」や「共通点」を確認しながら環境に対する考えを深めさせる。</p> <p style="text-align: center;">【自己決定の場】</p> <p>■本時の学習を振り返らせ、自己評価させる。</p> <p>【振り返りカード】 (ジグソー活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 相手の反応を見ながらキーワードを強調して説明できたか。 キーワードをもとに矢印などを使ってメモが取れたか。 <p>(クロストーク活動・まとめ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 「共通点」について自分なりに納得できたか。 <p style="text-align: center;">【自己存在感の場】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードを記入しながら自己評価している。(振り返りカード)

グループの人数や組み方	
エキスパートグループ	
A 「幻の魚は生きていた」	9人
B 「ホタルの里」	9人
C 「魚を育てる森」	8人
エキスパートグループ	
A 4人班×2	
B 3人班×3	
C 3人班×3	
ジグソーグループ	
3人班 (ABC) × 3	4人班×2 (AABC ABBC)

本単元における「生徒指導の3機能」の視点について

自己決定	<p>○自分なりの考えを持つ時間としての自力解決の時間を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて質問したり、説明の内容を要約したりしながら、他人の意見を聞き取りポイントをメモする。：ジグソーの場 他人の意見を聞き取り、自分の考えを深めたことを実感する：振り返りの場
共感的な人間関係	<p>○互いの考えを認め合ったり、自分の考えを確認、補充、深化することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他人の主張と自分の主張との相違点について考えることで、話し合うことの意義を実感する。：クロストークの場
自己存在感	<p>○課題の解決のために自分が意見を出したり、他人の意見を聞いたりすることに主体的に参加できたことを実感する：振り返りの場</p>